



2024年4月15日

各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 マーク ピンク
(コード番号 2338 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画室 富田 剛司
TEL 03-6910-0571 (代表)

**営業外収益（為替差益及び、個別財務諸表の貸倒引当戻入額）の計上、
特別損失(投資有価証券評価損)の計上、及び通期連結業績の予想値と
実績値の差異についてのお知らせ**

当社グループの2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）の連結及び個別決算において、下記のとおり営業外収益（為替差益）、営業外収益（個別財務諸表の貸倒引当戻入額）、特別損失(投資有価証券評価損)を計上をいたしましたのでお知らせいたします。また、2024年3月8日に公表いたしました2024年2月期の連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

当社は、当社グループの在外子会社である FASTEPS SINGAPORE PTE. LTD.、Quantum Automotive Limited（以下「QA」という。）及び Quantum FOMM Limited 等に対する貸付け等の取引により、金銭債権債務を有しており、当該金銭債権債務の為替相場の変動によって生じる両者の差額を為替差損益として処理しております。

当社は、2024年2月期第4四半期連結会計期間（2023年12月1日～2024年2月29日）において、為替相場の変動により25百万円を計上し、2024年2月期連結計期間において、為替差益157百万円を計上いたしました。

2. 営業外収益(個別財務諸表の貸倒引当戻入額)の計上について

当社は、売上債権その他これに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別の回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。今般、2024年2月期決算にあたり、個別の回収可能性を見直した結果、計上する貸倒引当金が減少したため、貸倒引当金戻入額30百万円を営業外収益に計上いたしました。

なお、個別財務諸表で計上する貸倒引当金戻入額の対象債権は連結子会社に対するものであり、連結消去されるため連結財務諸表への影響はありません。

3. 特別損失(投資有価証券評価損)の計上について

2024年1月12日付、開示資料「(経過開示) JP GAMES 株式の取得完了のお知らせ」にてお知らせしておりました JP GAMES の大株主である合同会社 TBT オフィスから取得した JP GAMES 株式110株(取得価額122百万円)につきまして、JP GAMES の事業環境ならびに今後の見通しを勘案し、投資有価証券評価損を122百万円計上いたしました。

4. 2024年2月期連結業績予想数値と実績値の差異について（2023年3月1日～2024年2月29日）

(1) 2024年2月期連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	360	△740	△620	△620	△14.22
実績値(B)	205	△942	△783	△902	△21.67
増減額(B-A)	△155	△202	△163	△282	
増減率(%)	△43.0%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	264	△394	△156	△954	△25.41

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結業績差異の理由

当期連結会計年度において、前回発表予想値の360百万円からの売上高の減少額(△155百万円)の主な要因は、GPUサーバー等の販売に関する取引の一部について、監査法人と慎重に協議した結果、取引完了が本年3月となったことから売上計上が当期(2024年2月期)から翌期(2025年2月期)にずれたことや子会社2社における売上代金回収がされていない取引に関し、監査法人と協議した結果、第1四半期に計上した売上の取り消しを行い、売上回収の状況を確認・検討するものとしたためです。

営業利益の減少額(△202百万円)は、売上減に伴い売上総利益が減少したことに加え、連結調整などによる追加費用が発生したためです。

また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前項目の為替差益及び投資有価証券評価損等を反映したものです。

その結果、通期連結売上高については、前回発表予想値360百万円から155百万円減少の205百万円となり、営業利益は202百万円減少の△942百万円となりました。

以 上